

開成まちづくり協議会 文化・スポーツ部会からお知らせがあります！

文化・教養講座を開催します！

テーマ 名護屋発「おね」への手紙～秀吉のラブレター～

大河ドラマ「豊臣兄弟」が始まりました。役者さんたちの生き活きとした演技によって、目の前で血気盛んな生きざまが展開され、歴史の中の戦国時代に引き込まれるような錯覚を覚えます。

名護屋城、言わずと知れた豊臣秀吉が朝鮮出兵の基地として築いた城郭ですが、秀吉は通算すると13か月に渡って名護屋城に滞在しています。能や茶の湯を楽しむこともありました。

秀吉は、この名護屋城から各地の武将などに書状を発していますが、講座では夫人である「おね」への手紙にスポットを当て、講師が参加者とともに興味深く読み解いていきます。



「豊臣秀吉自筆書状」(佐賀県立名護屋城博物館所蔵)

○ 日 時 令和8年7月31日(金) 10:00～12:00

○ 場 所 開成公民館大会議室

○ 講 師 佐賀県立佐賀城本丸歴史館 学芸員 浦川 和也 氏

○ テーマ 名護屋発「おね」への手紙～秀吉のラブレター～

○ 内 容 名護屋城博物館が所蔵する秀吉の書状は、文禄・慶長の役の際に名護屋から大阪城の「おね」(北政所)に宛てて書かれたもので、当時の秀吉の戦況報告や側室淀殿の懐妊などについて書かれており、まさに秀吉から「おね」への「夫婦の語り」です。この手紙は、秀吉の人物像に触れる興味深い1級の資料と言えるものですが、名護屋城から秀吉がどんな思いで書をしたためたのか読み解きましょう。

○ 申込方法 開成公民館(☎)まで地区名とお名前をお知らせください。

○ 申込期限 令和8年7月21日(火) ☎33-9581



参加料
無料

主 催 開成まちづくり協議会 文化・スポーツ部会